

年間取組検証シート

種別	内部事務改革
----	--------

No	改革名称
1	職員数・年齢構成の適正化

部	課
総務部	総務課

現状・課題		
職員定数は平成18年度(352人)を基準とし、平成28年度までに人件費抑制のため287人以下(65人削減)にすることを目標として取り組んできた結果、平成24年度現在で、312人(40人削減)となった。引き続き職員数の適正化を図る必要があるが、年齢構成割合に偏りが生じている。		
改革内容		
職員採用にあたっては、職員の年齢構成の平準化にも配慮し、組織力の安定化を図る。ここ5年間は大量退職が想定されており、組織力の維持を図るため、計画的に職員採用を調整する。また、国県からの権限委譲に伴う業務量の増加にも対応する必要があり、職員数は平成28年度においては300人とする。		
基準値	目標	効果
職員数H24.4.1:312人	・H28.4.1:300人 ・年齢構成平準化のための若年層職員の確保	・人件費の削減 ・行政の役割の重点化

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年次計画	312人	⇒	⇒	⇒	300人
年次実績	312人	311人 (H25.4.1時点)	304人 (H26.4.1時点)	301人 (H27.5.1時点)	300人 (H28.4.1時点)

平成24年度取組み内容(実績)	平成25年度取組み内容(計画)
退職者数(11人)に対する新規採用職員数(10人)とし、職員数の削減を行なった。	退職者12名に対し、8名の採用を予定
平成25年度取組み内容(実績)	平成26年度取組み内容(計画)
退職者数(21人)に対する新規採用職員数(14人)とし、職員数の7名削減を行なった。	本年度は、304人体制を維持する。
平成26年度取組み内容(実績)	平成27年度取組み内容(計画)
304人体制を維持することとしていたが、退職者11名に対して10名の採用となったため1名の削減となった。	年度当初に2名の退職者がでて、現在301名体制となっている。また、本年度は、退職者数より1名少ない職員を採用することとしており、次年度は目標の300人体制となる見込みである。
平成27年度取組み内容(実績)	平成28年度取組み内容(計画)
平成27年度末での退職者8名に対して平成28年度で採用する職員数を7人とした。	目標としていた職員数まで、正規職員数を削減できた。しかしながら、人口急増等の現状を考慮し、行政サービスの低下に繋がらない職員定員につき検討する必要がある。
5か年の取組み内容(実績)及び今後の方針	